

社会科(歴史的分野)学習指導案

授業の見どころ

今、韓流ブーム等の影響で、韓国は日本人にとって身近な存在となった。しかし、その反面戦後 60 年経った今も両国の間には様々な政治的課題が残っており、歴史における溝の深さを伺える。どうしてそうなったか…。日本の韓国併合後に起こった三・一独立運動を通して、二国間の歴史を知り、世界の国と日本の関係について考えるきっかけができればと思います。

プロジェクター等の教育機器を使うことで、年表や写真資料など題材に対する興味を喚起し、視覚的に受け入れやすいように工夫した授業の提案です。

日時 平成17年11月22日 4校時
場所 熊本市立力合中学校 体育館
年組 2年3組39人(男子20人 女子19人)
指導者 熊本市立力合中学校 教諭 浦田 康行

1 単元名 「第一次世界大戦～朝鮮の独立と中国・インド」(教育出版 P.182～183)

2 単元について

(1) 単元観

1914年、ヨーロッパ各国の国民も巻き込み、今までに例を見ない大きな被害をもたらした第一次世界大戦が始まった。原因は、帝国主義諸国間の植民地や勢力範囲をめぐる対立であり、戦禍は植民地の国々も巻き込み世界中に広がった。日本は、中国に対する権益拡大をめざし、日英同盟を理由に参戦した。戦争終結のため、アメリカ大統領ウィルソンは、平和に関する14か条を唱え、国際連盟の設立や、民族自決の原則、軍備の縮小等を提案した。そして、1918年連合国の反撃がはじまるとドイツ国内でも革命が起こり、大戦は終結した。この大戦後、国際連盟の成立、ポーランドなどの東欧諸国の独立、軍縮条約の実現など、国際協調へ向けて動き始めることとなった。また、植民地の人々にとっても民族意識を高め、反帝国主義・独立運動を繰り広げるきっかけとなった。しかし、この運動は東欧諸国では認められたが、アジアやアフリカの地域では認められるものではなかった。日本では、大正デモクラシーがおき、民主主義の風潮が高まり、普通選挙法等を実現するのである。

本題材は、第一次世界大戦後、日本の植民地であった韓国でも世界の民主化や、反帝国主義の動きがおこり、民族としての自覚が高まった。その中で、三・一独立運動がおこった。現在は、文化の交流等で日韓の友好関係も広がっているが、政治上の問題など歴史が残した傷跡が依然として残っている。三・一運動もその一要因である。この運動には、柳寛順という同世代の少女が関わっていたり、当時の人々の独立にかけける思いや、植民地で生活をしてきた人々の思いをとらえさせやすい教材であると考え。韓国の独立運動を通して、異文化を理解し、互いの国(民族)を尊重することの大切さを気づかせるのに適した教材である。

(2) 系統性

小学校6年生で、第一次世界大戦の概要(発生した年と日本の参戦)については学んでいる。また、韓国については、1年次の地理で、「世界のすがた」「日本のすがた」の中で、身近な地域の国として学習している。歴史においても4世紀の国際交流や、秀吉の朝鮮侵略などを学習している。

(3) 生徒の実態

本学級は男子20人、女子19人、計39人で、発言の少ないクラスである。授業中は、男子に積極的に発言をする生徒が多い。それに比べ、女子は発表は少ないものの、理解力は高く、自分の考えをしっかりとって授業に臨んでいる。

社会の出来事や人物については興味を持っているが、資料を読み取り、考える力が不足している生徒が多い。また、理解に時間のかかる生徒もあり、基礎・基本の定着が必要と思われる面もある。

・アンケート

歴史の授業は好きですか。	好き23名 嫌い15名
歴史で興味のある事は何ですか？	人物23名 できごと15名
韓国(朝鮮)で知っている人物は？ 現在 歴史上の人物	現在…ペ・ヨンジュン22名 チェ・ジウ10名 ユンソナ2名 イ・ビョンフォン6名

	ウォンビン5名 パク・ヨンハ6名 歴史上の人物・・・ 孫文5名 安重根5名 回答なし18名
今、日本と韓国の間でおきている問題は何か？	竹島問題2名 靖国参拝と反日デモ7名
年表の読み取りは得意ですか？	得意5名 不得意33名
授業内容で好きな形態は何か？	人物中心の授業10名 出来事中心の授業8名 班で考える授業14名 調べ学習の授業7名

以上の結果から、現在の韓国の人物は知っていても過去の人物についてはほとんど知らないことがわかる。このことから隣国の歴史についてはほとんど知らないことが推測される。また、歴史の授業は好きであるが、年表などの資料から読み取ることが苦手になっている生徒が多いという結果がわかった。

(4) 指導観

日韓の関係は、文化の面では友好関係がすすみ、韓流ブームもおきているが、“竹島領有問題”や“教科書問題”など政治的課題は後を絶たない。この題材で、独立運動をおこした韓国の人々の思いや日本政府のとった対応を知ることで、両国間の歴史的関係を少しでも理解させたい。その中において、当時から文化を通して理解を示していた日本人がいたことを紹介することで、異文化理解・人権尊重という視点からとらえることを示したい。そして、これから日本人として他国の人々と付き合っていく時にどう接していくべきかを考えるきっかけとしたい。

ここでは、日頃から資料を読み取ることができる力が不足している生徒が多いことから、プロジェクトなどを使い、年表や資料などを視覚的に見やすい工夫を心がけたい。また、調べ学習でも班学習を取り入れることで、協力して意欲的に取り組めるような学習形態を取り入れたい。その時、支援の必要な生徒は机間指導をしながら配慮をしていきたい。

3 単元の目標 「第一次世界大戦」

第一次世界大戦の原因や多くの国々の参戦について関心を持ち、その原因や経過・影響などを意欲的に調べさせる。(社会的事象への関心・意欲・態度)

この戦争が、史上初の世界的な規模の戦争であり、多くの犠牲者も出たため、戦争に反対する勢力も強まり、ロシア革命が起こったことに気づかせる。(社会的な思考・判断)

日本は、中国での勢力を拡大することをねらって大戦に参加し、二十一か条の要求を中国につぎつけ、さらにロシア革命をおさえるためにシベリアに出兵したことを理解させる。(社会的事象についての知識・理解)

大戦中に、日本の資本主義が急速に発達したことに気づかせ、また、シベリア出兵と米騒動の関係を考えさせる。(社会的思考・判断)

連合国の反撃やドイツの革命で、大戦が終結したことや、その後つくられたベルサイユ体制は戦勝国の利害の上に成り立っていたことを理解させる。(社会的事象についての知識・理解)

大戦後つくられた国際連盟などの意義やその限界を考えさせる。(社会的な思考・判断)

大戦中から民族的自覚を強めたアジアの諸民族が民族自決を要求して、戦った様子を、資料や地図をもとに韓国側から具体的にとらえさせる。(資料活用の技能・表現)

民衆運動によって本格的な政党内閣が出現し、普通選挙制が実現する一方で、政府は治安維持法によって運動を抑圧したことを理解させる。(社会的事象についての知識・理解)

4 単元の指導・評価計画

指導計画(6時間取り扱い)

次	題 材	主 な 学 習 内 容	配 当
1	総力戦の衝撃	第一次世界大戦の構図と原因	1
2		大戦の経過、ロシア革命	1
3	連合国の一員として	日本の大戦への関わり・中国への21か条の要求	1
4	不戦の誓い	戦後のベルサイユ体制・国際連盟の設立	1
5	朝鮮の独立と中国・インド	アジアの民族運動(韓国・中国・インド)	1(本時)
6	大正デモクラシー	日本の民主主義・政党内閣の出現	1

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	年表資料から、自分の意見を出し、話し合うことができる。	自己評価 相互評価
社会的な思考・判断	両国の独立運動に対するとらえ方を知り、これから日本人として他国とどう付き合っていくべきかを考えることができる。	教師による 評価
資料活用の技能・表現	年表から時代背景を読み取り、それをまとめ発表することができる。	自己評価 相互評価
知識・理解	三・一独立運動をはじめとした独立運動がウィルソンの民族自決や、ロシア革命などが原因でおきたことを理解できる。	テスト問題

5 本時の学習

(1) 目標

韓国での独立運動が、ウィルソンの民族自決やロシア革命などの影響で起こったことに気づく。
両国の独立運動に対するとらえ方を知り、これから日本人として他国とどう付き合っていくべきかを考えることができる。

(2) 展開

学習活動	時間	教師の支援	教材・教具等
1 ペ・ヨンジュンと柳寛順の写真をみる。 2 三・一独立運動について知る。	7分	ペ・ヨンジュンと柳寛順の写真を見せ、知名度のギャップに気づかせる。 レリーフから、韓国で大戦直後に独立運動がおこった事を読み取らせる。 同世代の柳寛順という少女も独立運動に参加していたことに気づかせる。	・ペ・ヨンジュンと柳寛順の写真 プロジェクター ・柳寛順のレリーフ写真 学習シート
なぜこの時期に、韓国に人々は独立運動をおこしたのだろうか？			
3 三・一独立運動について考える。 当時の朝鮮の人々の生活について振り返る。 年表を活用して、運動がおきた要因を考え、発表する。 ・資料から考えることができない生徒にも班での話し合いを通して考えて、求めることができるようにする。	23分	写真や資料を使い、韓国併合後の朝鮮の人々が、どんな生活を送っていたかを確認させる。 中国の五・四運動やインドの独立運動についてもふれ、同じ頃、中国やインドでも民族運動がおこっていたことを知る。 1910～1920年までに起きた出来事を年表資料を使い、確認させる。 おこすきっかけを班学習で支援し、年表などの資料を使いながらを考えをまとめさせる。 個人で発表の苦手な生徒もいるため、班で話し合ってまとめさせる。	・プロジェクター 学習シート ・学校の写真 ・年表(プロジェクター) 学習シート 表現ボード マジック
4 独立運動のその後について知る。	8分	写真や資料を使って、日本の政府は独立運動に対し、多くの軍を派遣して鎮め、以前にも増して支配を強化していったことを知る。 “柳宗悦”を紹介し、日本人の中にも朝鮮の独立運動を支持した人がいたことにも触れ、見方は一つではないことに気づかせる。	・柳宗悦関係資料
5 本時の学習を通してこれからの日本人として、他国とどう接していくかを考える。	12分	三・一独立運動が1919年に起きた背景を自分の言葉でまとめさせ、これから韓国を含めた他国とどういう視点をもって付き合っていくべきかを考えさせる。	学習シート